



* 0023053000 *

0023053-000

特 227-232

經濟政策

上田貞次郎・述

文精社

第2分冊

昭和11

ADD

東京帝國
大學教授

上田貞次郎述

經濟政策 (第二分冊) (丁)

昭和十二年度

東京帝國大學法學部講義

文精社

東京帝國
大學教授

上田貞次郎述

經濟政策 (第二分冊) (了)

昭和十二年度

東京帝國大學法學部講義

版社精文

特227
232

338
1319

東京帝國
大學教授

上田貞次郎述



經濟政策 (第二分冊) (了)



文政社版

昭和十二年度

東京帝國大學法學部講義

目 次

第三章 工場経営ノ大小——工業ニ於ケル企業ト経営——大経営ノ意義——大量生産及ビ標準化——大経営ノ利益ト限界——機械及ビ分業ニ依ル生産費ノ節約 128

第四章 工業ニ於ケル分化ト合成 140

第五章 工業ニ於ケル獨占ノ発達 146

第六章 中小工業問題——中小工業ノ存続——日本ノ特色——中小工業ノ利弊——其合理化
同業組合——産業組合——工業組合 166

第三章

工業経営ノ大小——工業ニ於ケル
 企業ト経営——大経営ノ意義——
 大量生産及ビ標準化——大経営ノ
 利益ト限界——機械及ビ分業ニ依
 ル生産費ノ節約

§1. 工業経営ノ大小

工業経営ノ組織ハ手工業——家内工業——工場
 工業トイフ形テ変化シテ来タ。然シ必ずシモスベ
 テノ工業ガ其順序ヲ経テ発達シテ来タワケデナイ。
 手工業——工場工業トナツタノモアルシ。手工業
 ——家内工業ニナツテキルノモアル。手工業ト工
 場工業トノ限界ハドコニアルカトイヘバ、ソレハ
 家計ト営利経済ガ分離シテキル実ニ即チ資本計算
 ガ行ハレル実ニアルトイッテヨカラウ。

小工場デアルモノガ大工場ニナル場合ニハ手工
 業ヨリ工場工業ニ発達スル過程ガハツキリセズ、
 工場統計表ヲ作り人数ニ依ツテ區別スル外ハナイ。
 コレハ経営ノ大小ノ區別ガ相対的ナモノデアルカデアル。
 普通ハ5人以上従事シテキルモノヲ工場ト認メテキルガ、之モ独

断的ナ見解デアアル。

概念的ニハ次ノ如クイヘルデアラウ。即チ親方
ガ「执行的労働」ヲナスニ專ラ「指導的労働」
ヲナス場合ニハ工場工業ト云フコトガ出来ル。此
程度ナレバ経営ガ大キクナツテギルト認メルコト
ガ出来ルガ、大経営、小経営ノ區別ハ相對的ナモ
ノデ、共ニ比較的大、比較的小トイフ意味ヲ有ス
ルニスギヌ。工場ノ規模ガ大ナルコトハ即チ経営
ノ大規模ナルコトデ、之レが大経営トイハレルガ
従業員30人以上ヲ大経営、ソレ以下ヲ小経営ト
スルノハ独断デアアル。コレハ会社組織ノ規模タル
企業ノ大小ト區別サルベキデアアル。

同シ工場工業デモ小工場ガ大工場ニナル傾向ガ
看ルシイ。ソレハ小工場ガ大工場ト競争スル場合
ニ比較的大ナルモノニ押サレテ失敗シテシマフカ。
又ハ自ラ拡張シテ大工場ニナツテ行クデアアル。
ツマリ大経営ニナツテ行ツタモノガ生き残ルカラ
デアアル。ソレハ種々ナル原因ニ依ルデアアルガ、
主トシテ小工業(経営)ハ大工業ヨリモ生産費ヲ
多ク要スルカラ、安ク賣ルコトガ出来ナイ。即チ
経営ヲ大ニスルト生産費ヲ節約シ品物ヲ安ク賣ル
コトガ出来ルデアリ、従ツテ市場ニ於テ生き残

ルデアアル。今之レヲ分析的ニ考察シヨウ。

大経営、大量生産ハ無限ニ其ノ利益ヲ拡張シテ
行クデアラウ。ソコニ限界ガアルデアアル。ヨ
ツテ之ヲ分析スルニ

(i) 如何ニシテ経営ヲ大ニスルコトガ生産費ノ
節約ニナルカ、即チ何故ニ大経営ハ生産費ヲ安ク
スルカノ問題デアアル。

(ii) 又、ソレハ何故ニ無限ニ拡張シナイカ。

此ノ二ツノ真ニ要因ガアル。予備知識トシテ知
ルコトヲ要スル、ハ工場ニ於ケル企業ト経営デア
ル。

Unternehmung (独) 企業 firm (英)

Betrieb (独) 経営 plant (英)

Betrieb ハ 生産ノ「技術的組織、作業団体」
ヲ云ヒ、具体的ナル工場トイフコトデアアル。

Unternehmung、方ハ經濟上ノ組織單位デ、
コレタケガ独立ノモノトシテ財産ヲ有シ、活動ヲ
行ヒ、個別經濟タル地位ヲ持ツ。簡單ニイヘバ、
「会社企業」トカ「個人企業」トカ「個人経営、事業」
トカガソレデアアル。経営ハ其ノ企業ノ实体即具體
的形態デアアル。

企業ハ營利ノ手段トシテノ組織デ、帳面ニ損ガ

アラハレルカ否カノ單位デア。經營ハ機械ガ倉庫ガアル、自動車ガアル、又、ソレ等ヲ取扱フ人間タル支配人、技師、職工ガアル、ソレラガ生産トイフ目的ノ下ニ結ビツケラレテ、動的ナーツノ組織ヲナシテキル、ソレガ經營デア。

今、問題トナツテキルノハ經營ノ問題デア。従ツテ技術的組織トシテ取扱ハネバナラナイ

(1) 大經營、大量生産ガ如何ニシテ生産費ヲ安くスルカ、大經營ハ如何ニシテ小經營ヨリモ能率が高イカ。一言デイヘバ合理化ガ大經營ニ於テ行ハレルカラデア。合理化トハ能率増進ト無駄ノ排除トヲ此処デハ意味スル。工場ノ合理化トハ能率ヲ上げ、無駄ヲ排除スルコトニナル。合理化ヲ広クイヘバ資本主義社会デ生産ト消費トヲ調節スルコトデア。ソレハ經營ノ合理化トハ余程違フノデア。經營ノ合理化ハ能率ヲ上ゲルコト、原価ヲ安くスルコトデアラネバナラナイ。能率ヲ上ゲルコトモ無駄ヲ省クコトモ結局同一ナル。能率ヲ上ゲルコトハ同じ労力ヲ使ツテ出来高ヲ増スコトデア。無駄ヲ省クコトハ或ル商品ヲ搾ヘルノニ小能力デマルコトデア。

小經營ヲ大經營ニスルコトハ合理化ノタメノ必

要條件デアノデア。ソレハ何故デアルカ、其解答ハ「機械及ビ分業ニ依ル生産費ノ節約」デア。然ルニ機械ナルモノハ分業ト共ニ起ルノデアリ、分業ナクシテ機械ヲ使フコトハ出来ナイ。何故ナラバ機械ハソレ自身魂ヲ有セズ、不規則繁雜ナルモノハ機械デハ出来ナイ。簡單ナ繰リ返シ作業デアレバ出来ル、コレハ分業ノ結果生ズルノデア。故ニ分業ノ原理ヲ掴ムコトが必要ナル。分業ノ偉大ナル力ヲ独創シタ人 *Adam Smith* ハイフ。

- a) 熟練ガ増ス 繰リ返シ作業ニ依リ。
- b) 他ノ仕事ヲナス間ノ時間ヲ節約スル。
- c) 発明ノ機械ガ多イ。

1830年代 *Cambridge*ノ物理学教授タリシ *Charles Babbage*ハ *Economy of Manufacture* (1832)ヲ着ハシテ、其ノ中デ重要ノ意見ヲ述ベテキル。

*Adam Smith*ニ依ツテ唱ヘラレタ分業ノ初カテハ説明ハ不十分デア。私ハ悉ユル工場ヲ見学シタ。ソレヲ觀察シ、黙想シタ結果、一ツ *Adam Smith*ノ説明ニ欠ケテキル所ガアルコトヲ発見シタ。ソレハ何カト云ヘバ「分業ハ仕事

＝従事スル人々ノ全能力ヲ使ハセル組織デアラ¹
ト云フコトデアル。分業ガナイ場合ニハ全能力ヲ
使フコトハ出来ナイ。力ノ無駄が出来ルノデアル。
分業ヲ行フト仕事ノ難カシイ部分ト易シイ部分ガ
縮ヒ分ケラレ、腕力ヲ要スル部分ト要シナイ部分
トガ又縮ヒ分ケラレル。即チ適材ヲ適所ニ置クコ
トが出来ル云云。

工業ニハ又 *Babbage* ノ言葉テ云フト *diff-*
erent processes ガアル。ソノ中ニハ *skill*
or force ヲ多ク要スルモノアリ、少ク要スル
モノガアル。分業組織ガ実行サレテ居レバ、各々
ノ *process* ニ対シテ丁度適当ナ人物ヲ置クコト
が出来ル。ソレ以上ニ有能ナル人間ヲ高級ナ人間
ニ僱フ必要ハナイ云云。

即チ連続シタル作業ヲ多数ノ行程ニ細分シ、其
各行程ヲ夫々ノ労働者ニ割当テルトイフ分業ニ於
テ上ノ点ハ甚ダ重要デアル。

百年後 1932 年 Ford ハ “*my Life and*
Work” ヲ著シテ言ツタ。私ハ株ヲ作ツテ儲ケ
タノデハナイ。仕事ヲ *divided and subdivi-*
sioned シテ盲人ニモ適シタ仕事ガアルマウニシ
タ¹ト。

次ニ機械ノ利用ニ付テ述ベル。蒸気機関ノ発明
ニ依ル産業革命ノ結果、工業経営ニ大変動ヲ生ジ。
従来ノ小経営ニテハ新シキ生産ノ武器、蒸気機関
ヲ使用シ得ザルコトトナレリ。蒸気機関ヲ使用ス
ルニハ、ドウシテモソレヲ使用スルニ足ルダケノ
仕事ノ分量ヲ一ヶ所ニ集メネバナラヌ。即チ生産
ノ規模ヲ拡大スル必要ガ生ズル。一般ニ大規模ノ
機械ヲ使用スルニ、ソノ運転ニハ数多ノ力ヲ要
シナイガ、其全能力ヲ發揮サセルダケノ仕事ノ分
量ヲ要シ、従ツテ動力供給ニ伴フ設備ノ拡大ヲ来
シ、必然的ニ経営ノ規模ノ拡大ヲ来ス。カクテ工
場主ナル資本家ノ下ニ労働者僱ハレ、一定ノ規律
ノ下ニ労働スル組織ヲ作ルコトトナル。然ラバ機
械ノ能力ヲ十分ニ發揮サセルニハ大経営ガ必要ト
ナル。従ツテソレニ應ズル大量ノ仕事ガ一ヶ所ニ
集マリ、大量生産ガ行ハレルコトトナル。

(ii) 大経営ノ利益ニモ限界ガアル。先ヅ経営者
ノ能力ニハ限りガアル。アマリニ膨大ナ経営ヲ一
手ニ切り廻スコトハ能率ヲ下ゲルコトニモナル。

次ニ分業組織ノ技術ニ依ル制限ガアゲラレル。
如何ナル技術デモ分業ニスルコトが出来ルノデハ

ナイ。分業ヲ用ヒ得ル生産ノ種類ハ限ラレテキル。不規則ナ、繁雜ナ、又藝術的ナ技術ニ於テハ分業ヲ行フ余地ガナイ。第三ニ製品ノ種類ニ依ル制限ガアル。ソレハツマリ標準化ノ限界デアアル。趣味ノ多様性ハ劃一的ナル生産ヲ好マナイ。大量生産ハ斯ル種類ノ製品ニハ不適當デアアル。従ツテ機械及ビ分業ノ使用ガ制限サレル。趣味的藝術的の品ニハ却ツテ商工業ガ適當スル。例ヘバ紡績ハ大工業デ、織布(模様ノ多様性ノ必要カラ)ハ小工業デ行ハレル。

此郊ニ注意スベキハ大経営ト大量生産トハ同ジ意味ニ使ツテモヨイガ、多少異ルノデアアル。大量生産トハ生産ノ組織ヨリモ零口生産ノ作用ヲ云ツテキル。工場ガ大経営デアルトイフコトト、ソノ工場ガ大量生産ヲナスカ否カトハ違フ。大経営ノ中デドコ迄大量生産ガ行ハレルカハ別向題デアアル。大量生産ハ同ジモノヲ沢山拵ヘルコトデアアル。同ジモノヲ沢山拵ヘルコトニ依リ、生産費ノ節約ガヨリ多ク可能トナル。コレヲ正確ニ実行スレバ、商品ノ標準化(Standardization)トナルノデアアル。コレハ歐洲大戦後ニ發展シターツノ経営法デアアル。工業品ニ限ラズ農産品ニ於テモ同ジ品

質デ同ジ形ノモノヲ沢山作ルノデアアル。故ニ機械ナンカデ云ヘバ Fordノ自動車ノ製造ハ Standardizationノ非常ニ進ンダ例デアアル。ソノ自動車ノ型ハ三ツシカナイ。上等ノモノ、下等ノモノ、Truckノ三種デアアル。ソレデ一日ニ幾千台モ作ルノデアアル。

時計ナドデモサウデアアル。何故 U.S.Aデ高價銀ニモ不拘、ナゼアンナニ安ク出来ルヤウニナツタカ、Walsomeデハ standardizationヲナシテ十六型シカ作ラナイ。

Swissナドデハ、職工ガ家内工業トシテマツテキルノデアアルガ、ソウ生産費ハ安クナイガ、ソノ代リ嗜好ニ応ジタモノガ製作セラレルコトニナル。

「タイル」「シンガーミシン」ノ様ナモノデモ一般ニ社会的ニ standardizationシテキルト、ドコノ会社デ作ツタモノデモ合アヤウニナル。ネチノ方法モ英國ノ技術家ガ骨折ツタ結果、19世紀初メ頃カラ最早世界的ニ standardizeサレテキル。サウデナケレバ自動車ナンカトテモ出来ナイノデアアル。一工場デハ handleノミヲ作り他ノ工場ハ pedalノミヲ作ルノデアリ、コノ組

立テハ自動車屋ノ店先キデ出来ルマウニナツテキ
ル。コレモ標準化ノ賜物デアル。

Ford デ有名ニナツタコノ方法トシテハ *Con-
veyor system* ガアル。運転シテキル *Belt*
ノ上ニ次カラ次ヘ部分品ガ載セテアリ。各職工ガ
其ノ *Belt* ノ動イテ居ル中ニ部分的労働ヲ完了ス
ルコトニナル。 *Fließarbeit* トイフノガ之
レデアル。大工場ニナルトソノ流レガ幾ツニモナ
ル。 *「ボタン」ノ支流* *「ネジ」ノ支流* ト云フ風ニ
非常ニ多イノデアル。ソシテ最後ニハ完全ナル自
動車トシテ出サレルコトニナル。

ソレデ労働ガ集約化サレ、強化セラレ *inten-
sive* トナル。若シモ此ノ *Conveyor* ノ動キガ
早クナレバ、非常ニ *intensive* トナル。ソノ代
リ給金ガ高ク、時間モ短イコトニナル。コレデマ
レバ賃金デモ *「出来高払」* モ *「個数払」* モナクナ
ル。ソレデ全体ガスベテ *Conveyor* デ出来テキ
ル。其ノ *Belt* トカ *Chain* トカ運ブモノデ、ソ
ノ *Conveyor* ハ違フコトニナルガ、ソノ *Man-
agement* = 於テハ同ジモノデアル。

コノ *standardization* ト云フコトガ大量
生産ノ最モ進ンダ形デアル。鉄棒ヲ沢山作ルコト

ハ大量生産ニ適ヒナイ。分業モ出来ルノデアル。
シカシコレヲ極ク進ンダ形ニスルノニハ、同ジ鉄
棒ニモ太サ、型、品質ヲ一定シテ置ケバ、寸法ノ
違ツタモノヲ作ツテキルヨリハ遠カニ能率ガヨイ
ノデアル。ソレ故ニ製鉄業デハ各工場ノ間ニ *「分
野協定」* ガ行ハレルコトニナル。ソウスルト各工
場ハ朝カラ晩マデ同ジモノヲ作り得ルコトニナル。
最後ニ大量生産ニ付イテ側面的注意ヲシテ置キ
タイノハ *「内部経済」* ト *「外部経済」* ノ區別デア
ル。 *Internal Economy* ト *External*

Economy ノ區別デアル。コレハ英国ノ *Mar-
shall* ノ称ヘタモノデアリ、彼ニ依レバ企業
ノ中デ分業ヲ行ヒ、大量生産ヲ行ヒ、ソレニ依リ
生産費ノ節約ヲナサントスルノハ *Internal*
Economy デアル。所ガ、コレガ行ハレルマ否
マハ、企業内部ノ組織ニ依ツテノミ定マルモノデ
ハナイ。外部ノ一ツノ産業社会ノ組織ニ依ツテ影
響ヲ受ケルノデアル。例ヘバ、或ル地方ニ一種ノ
産業ガ集中サレテキルト、其産業ヲ経営スルニ必
要ナル各種ノ補助機関ガ其土地ニ揃フノデアル。
各種ノ機関ハソレソレ独立ノ営業デアル。別々ノ
営業主ガコレヲ経営シテキル。然シ乍ラ一人ノ經

管者ハ多クノ得意先ヲ持ツコトニナルカラ大量生産ニナル。例ヘバ尾州ノ織物ヲ出ス地方ニ於テハ、毛織ヲ織ルコトガ其ノ主ナル仕事デアアル。コレハ無数ノ小工場ニ依ツテ営マレテ居ル。所ガ其ノ織上ゲラレタモノノ仕上ゲラシナケレバナラナイ。コノ仕上ゲ工場ハ独立シタ工場デアアル。織屋カラ資金ヲトリ上ゲルダケノ仕事ヲスル。非常ニ大キナ経営トナル。デアアル。技術的ノ設備ガ要ルカラデアアル。コノ設備ガ如何ニシテ出来ルカトイヘバ、ソレニ付イテ *External Economy* ガ行ハレテキルカラデアアル。多数ノ織物工場カラ出テクルモノガ非常ニ多量デアアルカラ、同じ毛織業ニ於テモ大量生産トナル。

鍛冶屋ガアルガ織物機械ノミヲ修繕スルコトニナルカラ、割合ニ大量生産ニナル。他地方ノ萬屋的鍛冶屋ハ *External Economy* ヲ知ラナイカラ大量生産ニナラナイ。コレハ非常ニ大キナ工場ナラ修繕工場ヲ附属セシメテ置クケレドモ、小経営ニ於テハ附属工場ヲ持ツコトハ出来ナイ。併シ多数ノ小経営ガ尾州毛織物産業社会ニ存在スルトキニハ、コノ大量生産的鍛冶屋ガ独立シテ成立シ得ルコトニナル。コレガ *External Economy*

ノ才産デアアル。

全般ニ亘リ一揃ヒノモノガ一体トナリ、大量生産ガ出来ルノデアリ。前ニ述ベタ *Standort-lecture* ト結び付ケテ考ヘテホシイ。ツマリ機械的ナ一揃ヒノ組織(例ヘバ、倉庫、船路、運送屋)ガ完成スレバ、原料ノ如キモノガ高クナリ、分析的ニハ不便ナ土地ニナツテモ、其ノ産業ハ移転シ得ナイ。一度ビ集中化ガ行ハレレバ、コノコトガ一ツノ生産条件トナリ、更ニ歴史的條件トナリ。コレガ長所トナリ、其地方ニ原料ガナクナリ、又原料ガ高クナツテモ他地方ニ移動スルニハ大ナル障害ガアルコトニナル。歴史的ニ補助工業ガ備ハツテ来テキルカラ、ソレガ一ツノ長所トナル。デアアル。コレガ *External Economy* ノ大切ナル所デアアル。尤モ政府ノカマ同業者ノ協力ヲ、斯ル外部経済ヲ作ルコトハ或程度迄ハ可能デアアル。

第四章 工業ニ於ケル分化ト合成

此ノ分化ト合成トハ工業ダケノ現象デハナク、一般社会組織ニ就テ起ツテ来ル。 *differentia-*

tion integration) 誤デアルコトハ勿論デアル。生物學カラ傳來シタノデアラウ。細胞間ニ分化ガ起リ、又其裏ニ合成ガアル。分化トハ從來一體デアツタモノガ、其ノ職能、作用ニ應ジテ多クノ部分ニ分レ、其ノ各部ヲ Co-ordinate スルコトデアアル。合成トハ其ノ各部ヲ合シテ一ツノ組織体ニ統一スルノデアアル。分化ハ又 specialization 特化、専門化トイフコトモアル。

商店ニ付テ見レバ田舎ノ町ニヨクアル萬屋ガ分化シテ、各種ノ商店ニナルノガソレデアアル。万屋ハ Department store トハ違フ。百貨店ハ上ノ万屋ガ分化シテ生ジタ各種ノ商店、即チ特化シタ商店ヲ一ツ所ニ集メ、相互ニ連絡ヲトツテ賣ルヤウニナツタモノデアアル。コレハ integration デアル。又、昔ノ三河木綿ハ原料ノ綿ヲ作ルコトモ、又コレヲ紡イデ糸ニスルコトモ、又更ニ之レヲ織ルコトモ、三河トイフ一ツ所テ行フコトニ依ツテ製造サレタ。然ルニ現在デハ U.S.A. デ生産サレ、大阪其他ノ工場地デ糸ニ紡ガレ、ソレヲ織ルコトハ三河デマツテアル。コレハ分化デアアル。

工業ニ於ケル斯カル分化合成ノ現象ニハニツノ

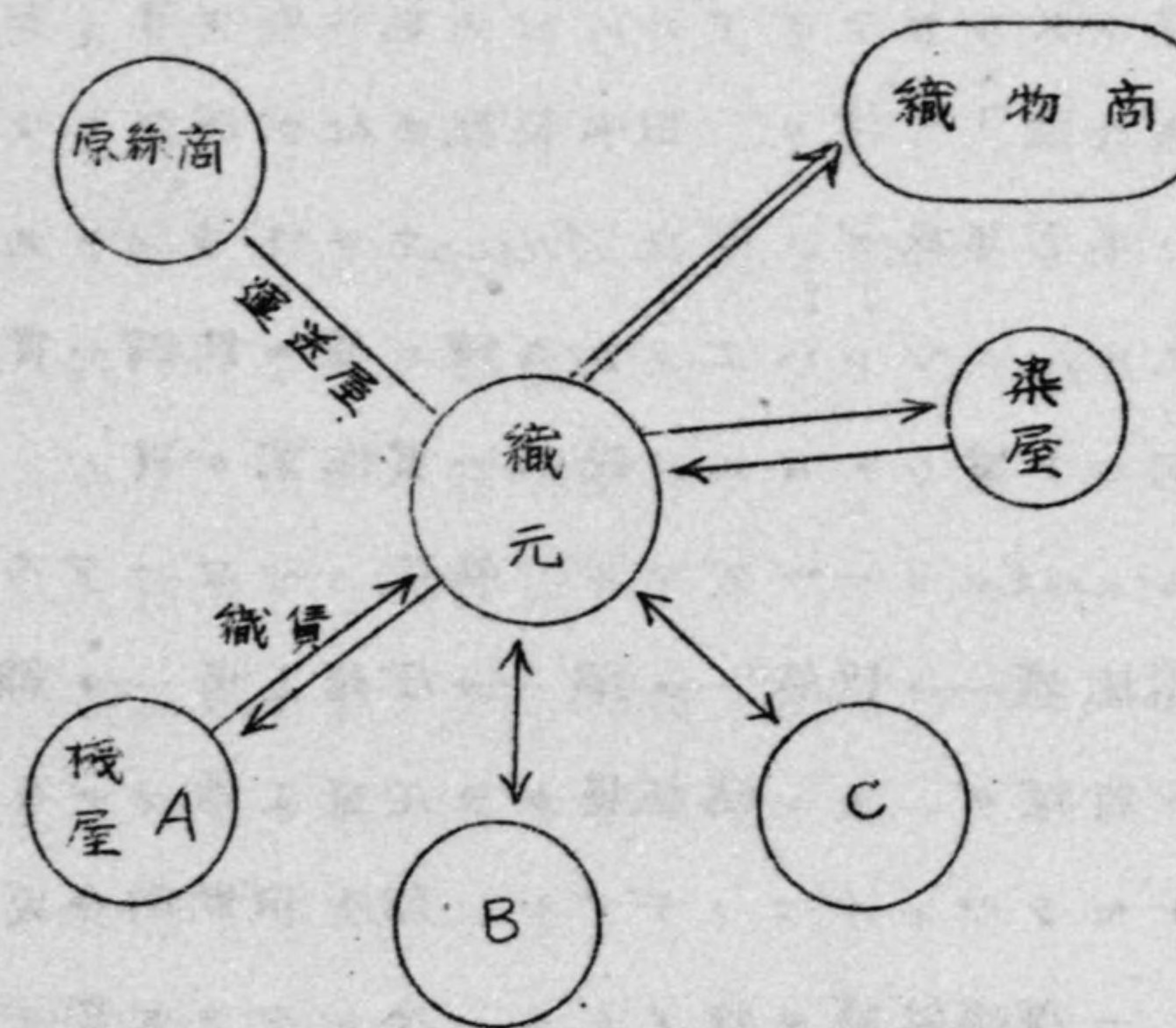
行き方ガアル。

- (1) Vertical 縦断的の分化或ハ合成
- (2) horizontal 横断的の " " "

上ハ process ニ依ル分化・合成デアリ、下ハ quality ニ依ル分化・合成デアアル。

Vertical トハ生産ノ順序ニ從ツテ専門化シ、或ハ之ヲ合成スルコトデアアル。生産ノ順序トハ、原料 → 半製品 → 製品トナル process デアル。

horizontal ハ生産ノ性質ニ從ツテ専門化シ或ハ合成スルコトデアアル。下図ノ如ク織元ガ其ノ



原糸ヲ数多ノ機屋ニ出シテ織ラセ、織物ニ多樣性ヲ出サウトスルノハ擬織ニ於ケル horizontal

ナ分化デアル。斯ル分化ノ中更ニ分化ニ進ムモノアリ、或ハ合成ニ進ムモノカアル。現在ノ段階デハ、特化ハ略々完成シ寧ロ合成ニ進ム傾向ニ強イ。

何レニシテモ原価ヲ高クシ、競争上有利ナル地位ニ立ツノガ分化合成ノ目的デアル。

製鉄業ニ付テソレヲ述ベル。ソレハ大ナル合成デアル。分化カナクナルノデハナイガ、ソレガーツノヨリヨキ統制ノ下ニ置カレルノデアル。製鉄業ハ大ナル費用ヲ要スル工業デアル。其ノ理由ハソレが大規模ナル経営ヲ必要トシ、又縦断的の合成ヲ必要トスルカラデアル。ソノ爲一昨年日本製鉄会社法ニ依リ、日本製鉄会社が成立シタ。ソレハ半官半民デ、官立 Trustヲ作ラントスルノデアル。ソレハ上ノ如キ理ニ基キ銑鋼一貫作業ニ向ツテ進ンデキル。銑鋼一貫作業が其ノ principleノーツデアル。炭坑 — コークス — 熔銑爐 — 銑鉄 — 鋼 — 圧延工場 — 鋼材トナル行程ヲ、主ニ熔銑爐カラ圧延工場マデモ一貫シテマラウトイフノデアル。即チ縦断的の合成デアル。一度熔銑爐ヲ煉メタラ、冷シタラ大變デアル。大損害デアル。故ニ無限ニ繼續シナケレバナイ。其ノ副産物トシテ Gasガ出ル。如カ熔

銑爐ガ specializeシテ居レバ銑鉄 (pig iron) ガーツノ商品トナリ、市場ニ出テ、コレガ商人ノ手ヲ經テ鋼鉄会社ニ買ヒ込マレル、コレハ大損デアル。一度冷シタモノヲ、モウ一度鋼鉄会社が煉メテ熔カスノデアル。故ニ一貫作業デマルト redand hotノモノヲ繼續的ニマツテシマウコトニナル。故ニ外國ノ製鉄業ニ於テハ、銑鋼一貫作業ヲマツテキナイ所ガナク、コレヲマラナケレバ到底競争ニハ勝テナイノデアル。

20世紀ニナツテ流行シテ来タ方法デアルガ、カーネギー財団ノ財源ハ、此処ニ發生スルノデアル。

コレガ Vertical integrationノ例デアルガ、鉄ノミナラズ砂糖ニ関シテモ、粗糖会社が台湾ニアリ、内地ニ精糖会社がアルノオ、両方ヲ握手シテ台湾デ一貫作業ヲスレバヨイコトニナル。

紡績会社ヲ然リデ、紡績ト織布作業トヲ兼営シテキルノデアリ、合成セラレタモノノ一例デアルコトハ疑ヒナイノデアル。

各方面デ縦断的の合成ヲ行ハレテキルノハ何故カ、

- (1) 技術的の利益デアル。即チ副産物タル Gas、染料等ヲ利用シ得ルコトデアル。

- (2) 中間商人ノ排除デアル。一度ビ市場ニ出シ、又買ヒ取ルコトハ、ソレダケ配給機関ヲ多ク候フコトニナリ、コレヲ出来ルダケ *simple* = スルコトハ、商業上工業上必要デアル。配給組織ハ生産者カラ消費者ニ行ク *process* デアルガ、工業モ配給経路ノ一ノ *process* デアル。ソレ故ニソノ配給 *process* ヲ出来ルダケ簡單ニスル為ニ合成シテ、中間商人ノ排除ヲスレバ意外ノ節約が出来ル。先ヅ「荷造り費用」ハ馬鹿ニ出来ナイ高ニナルガ、コレが省カレル。
- (3) 在庫品ヲ少クスルコトデアル。品物が或ル場所ニ停滞シテキルコトハ大損害トナル。ソレハ普通ニハ倉庫ニ入ツテキルノデアルカラ在庫品ト称セラレル。Stock トイフノガソレデアル。ソレハ倉庫ノ中ニ在ル間ニ悪化スルモノモアル。悪債ニナリ減失シ減少スル種類ノモノが多クアル。ソレバカリデハナク、倉庫代(倉敷料)、地代が多額ニナル。又、其ノ Stock ニナツテキル間ハ彼ニ立クナイカラ利子が嵩ムノデアル。或ハ在庫中ニ物価ノ騰落ガアリ、意外ノ損失ヲ蒙ル危険ガアル。
- 故ニ生産者カラ消費者ニ至ル迄水ノ流レルマ

ウニ停滞スルコトナク来ルノガ一番生産費ヲ安く、又、社会的ニ組織上有益トモノデアル。

第五章 工業ニ於ケル独占ノ発達

中世ノ *Guild* ハ同業者ノ利益ヲ擁護シ、其ノ独占ヲ全ウセントスルモノデアル。之ニ加入シナケレバ商業工業ヲ営ミ得ナイ。ツマリ営業ノ免許ガ *Guild* = 独占サレテキタノデアル。之レハ一面消費者ノ利益ヲ犠牲トシテ行ハルルモ、他面製品ノ品質ノ向上ヲ計リ、競争ニ依ル不正行為、生産過剰ヲ制限スルモノデアル。佛革命後 *Guild* ハ崩壊シ、*laissez faire* ガ商工業ノ根本原則トナル。古典派ノ経済学ニ於テ殊ニ然リ、即チ競争ヲ以テ商工業発達ノ動力ト認メルノデアル。営業ノ自由ガ法律上認めラレルニ至ツタ。

我国ニ於テモ明治以来組合ニ依ル自衛組織ヲセラレ、自由競争ガ認めラレルニ至ツタ。其ノ結果経営上、技術上大イナル進歩ヲ見タ。然シ大経営ノ利益ハ小工業ヲ圧倒スルニ至ルト共ニ、大経営ノ数ハ漸次少数トナル。ソレハ技術上、経営上ノ

合併、又競争=依ル小経営ノ消滅=基ク。之レハ競争ノ結果、必然的ニ生ズルモノデ、自由競争が却ツテ独占ノ誘因トナツタノデアル。又、大経営ハ大ナル固定生産設備ヲ要シ、技術上モ其ノ數ヲ減ズル傾向ガアル。カクテ少数トナツタ企業ノ間ニ於テ、種々ノ協定ノ成立ヲ見ルニ至リ、独占ガ實現スルノデアル。

現代経済社会ノ趨勢ハ「統制」=アル。統制ハ政府ガ好シテナスノデハナク、時代ノ要求トナリテアル。ソレハ自由競争ニ対スル觀念デアル。統制ハ独占ニ導ク。民間ニアツテハ *Cartelle*, *Trust*, 公ニアツテハ郵便、電信等々ノ事業ヲ成立サセル。現代ハ公ノ独占ヲ拡張シテ、民間会社ニ干渉制限ヲ加フル傾向ガ著シイ。例ヘバ最近ノ電力統制問題ノ如シ、一般ニ公衆ノ生活ニ緊密ト関係ヲ有スル公的の事業、例ヘバ、鉄道、瓦斯、水道等ノ事業、即チ所謂公益事業 *public utilities* ハ独占ニシテ資本ノ浪費、政治ノ腐敗ヲ招クコトガ多イ。但シソレ等ヲ市営ニスルカ民営ニスルカハ、社会ノ事情ニ依リ一様デナイ。アメリカノ如ク、都市ノ政治ノ腐敗セル所デハ（都人ノ發所心ノ生ゼサル中ニ）都市ガ大キクナツテ

シマウ關係ヨリ生ズ）民間ガマナリ、英國ノ如ク自治ノ發達シタ所デハ而官ガ勝ツテキル。之ニ反シ *Cartelle*, *Trust* ハ主ニ製造工業ニ於テ生ズル。而シテ此種ノ工業ノ独占ハ事業ノ性質カラ必然ニ生ズルモノデハナイ。故ニ從來ハ自由競争ニ委シタ。併シ自由競争者ノ中ヨリ独占ガ生ジ国家ノ力ヲ以テシテモ食ヒ止メ得ナイ實情ガ成立シ公益事業ニ於ケル如キ独占ガ私企業ニモ生ジタ。国家ノ政策ハ独占ヲ認メテ其ノ不完全ナルモノヲ完全ナルモノトナシツツ、之ニ干渉ヲ加フルコトニ依リ其ノ活動ヲ制限スル。統制ヲ以テ独占ノ威力ヲ押ヘルノデアル。斯ル傾向ハ過去2・30年間ニ徐々ニ生ジタガ、最近ノ世界恐慌ヨリ特ニ著ルシイ。

此処ニ電力統制問題ニ一言言及スル。

現代ノ電気事業ハ未ダ地方的独占ニ至ツテキルニ逼ギナイ。二重資本ノ損害ハ莫大ナモノガアル。電力統制ノ趣旨ハコトニアル。甲会社ノ設備ニ故障ヲ生ジタル際、乙会社が代ツテ電力ヲ供給スルコトニナレバ、消費者ニ対シ会社ノ異ル毎ニ別々ノ経済ヲ立テサセル必要ハナイ。此処ニモ統制ノ理由ガアル。故ニ全国ノ会社ヲ統一シテ二重資本

ノ弊ヲ除キ設備ヲ改善スベシトノ声ガ現代電力統
制問題デアル。唯ソレニ至ル手段トシテ如何ナル
手段ヲトルカバ議論サレル。

水道ニハ全国的積極的統一ノ要ナシ、地方的独
占デ十分デアリ、又、ソレハ人民ノ衛生ニ直接関
係ガアルカラ、公益事業中特殊ノ地位ヲ占メル。

製造工業ニ於ケル独占ニ付イテハ次ニ述ベル。

工業ノ資本的組織タル私会社ト株式会社、株式
会社ノ結合ハ独占ノモノニ付イテノ説明デハナ
ク、ソレニ至ル所以、原因ヲ述ベルモノデアル。

独占ノモノヨリモ独占形態ノ発達スル前ニ企業
ノ結合ガ起ラナケレバナラナイ。

企業ノ結合ニハ二種ノ目的アリ。

- (1) 独占ノ為ニスル結合。併シ独占形態ニナル
ノニハ余程大キクナラナケレバナラナイ。独占
トイフ時ニハ普通ニハ市場ノ独占ヲ意味スル。
競争ヲシテキル企業が大部分結合シ競争ヲ少ク
スル。独占ハ價格ヲ左右シ、ソノ下ガルノヲ阻
止シ、維持スルコトガ出来る。ソノ為ニハ市場
ニ対スル關係デ、ソノ競争者ノ大部分ヲ結合セ
シメルコトガ必要デアルカラ相当大キク結合デ
アルコトヲ要スル。

- (2) 独占ニ至ラナイ結合モアル。大経営ノ利益ガ
出来テフルカラ、ソレダケデ存在理由ハアル。
無論独占ノ組合ナラバ大経営ノ利益モ自然ニ出
テクルケレドモ、注意スベキハ大経営ト独占ト
ハ違フ概念デアルコトデアル。非常ニ大経営ニ
ナレバ自然ニ独占ニナルガ、大経営トカ小経営
トカハ比較的ノ言葉デ、独占ニナラナクテモ大
量生産大経営ノ利益ヲアゲ得ルコトデアル。ソ
レデ工業ノ資本的組織ハ大経営ヲ達成スルタメ
ニ結合スル場合ト、独占ヲ得ルタメニ結合スル
場合ト、ソノ何レニシテモソノ結合ノ形式ガ異
ルノデハナイ。普通ニ大工業ノ企業組織ハ株式
会社デアル。株式会社トハ如何ナルモノカトイ
フニ、ソレハ法律上ノ概念デアル、經濟上株式
会社トハ如何ナルモノカトイフニ、ソレニハ種
々ノ概念ガアル。同一ナル法律上ノ株式会社ノ
形式ヲトツテ色々ノ經濟上ノ目的ヲ達セントス
ルモノガアル。經濟上カラ云ヘバ大キイ会社、
小サイ会社、ソレカラ株主ノ多クアル会社ト株
主ノ少シシカナイ会社ト大キク差異ガアル。法
律上ハ何レモ有限責任デアリ、何レモ株式ニ均
分サレテ賣買自由トサレテキルガ、經濟上デハ

大キテ差カアル。東京電燈トカ日本郵船株式会社トカハ何万ノ株主カアル。反之、三井、三菱ノ諸会社ニハ株主ハ20名前後シカキナイ。前者ノ株ハOpenニサレテキル。後者ハ倉庫ノ中ニ組子代々傳ヘラレル。兩者ノ差異ハ經濟上甚大ナモノデアル。俵運等ニハ後者ヲ普通ノ株式会社(公株式会社)ト區別シテ *private Company* ト云ツテキル。普通ノ株式会社ト *private Company* ト何レが多イカトイヘバ、後者ノ方が多イノデアル。ソノ株ハOpenニサレテキナイ。株式取引所ニ上場シヨウトシテモ取上ゲナイ。株式取引所テ賣買出来ルモノト出来ナイモノトハ雲泥ノ相違デアル。典型的ナ株式会社ハ一般的ニハOpenデアルトサレテキル。經濟的ニハ上述ノ如キ差異アルモリガ、何レモ自己ノ目的ヲ達スルタメニ、法律上株式会社ト云フ同一ノ形式ヲトツテキル。

株式会社ハ企業ノ單位デアルガ、コノ單位ト單位トカ結合スル。ソノ結合ノ形式ニハ如何ナルモノガアルカ、ソレニハ種々ナルモノガアル。

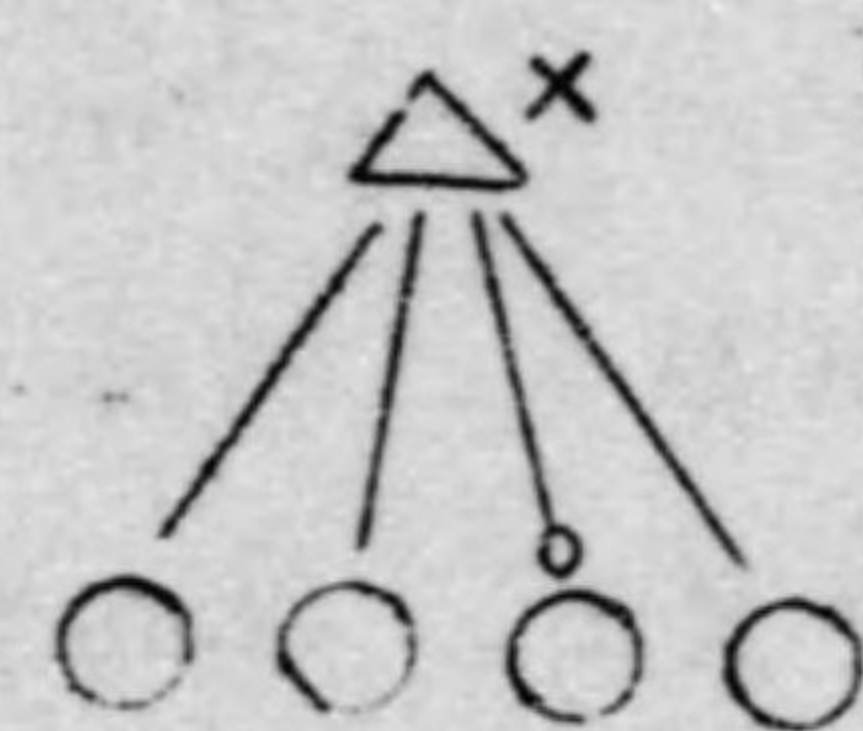
(I) Trust — holding company

Trust ハ 1882年 U.S.A = 生ジタ企業

結合ノ形態デアリ、独占ノ目的トシタ。Standard Oil Companyガ其ノ草分ケデアル。A, B, C, D等々ノ同種ノ生産ヲ管ム会社(例ヘバ石油)ノ株主ヲシテーツノ親会社ニ其ノ株ヲ信託サセル。親会社ニテハ数人ノ会社重役ヨリ成ル委員会ガ被信託人トナツテ其等ノ株券ヲ受取り、ソノ代リ受取証ヲ交付シ、ソレヲ以テ配当及ビ財産ニ対スル権利ヲ代表セシメ(市場ニテ自由賣買ヲナシ得)、永久的ニ諸会社ノ經營權ヲ掌握スルコトトナツタ。其ノ委員会ハ Board of Trusteesトイフ。カクテ少クモ諸会社ハ經營上一体トナリ、諸会社ハ本部ノ支店ノ如クナツタ。カクテ諸会社間ニ競争ヲマメ、供給ヲ制限シ、價格ヲ吊上ゲルコトトナリ、輿論ノ激昂ヲ買ヒ、米國憲法ノ精神ニ反スルモノトシテ「トラスト禁止法」制定セラレ、解散ヲ命ゼラルルニ至ツタ。仍テ信託ノ代リニ持株トイフ技術ヲ用ヒ、各会社ヲ其ノ傘下ニ集メ、Trustト同ジク独占ノ目的ヲ達スルコトトナツタ。ソレハ所謂 *holding company* デアル。何ヲholdスルカトイヘバ、*shares* 株式ヲholdスルノデアル。A, B, C, D等ノ会社が經營ヲマツテキルノニ、更ニ一

ツノ会社Xナルモノガ出来テ、XガA, B, C, D等々ノ若干ノ株式ヲ持ツ。即チ株主總會ヲ牛耳ルニ足ルダケノmajorityヲ握ルノデアル。普通ニハ $\frac{1}{2}$ 乃至 $\frac{1}{3}$ デアル。A, B, C, D等ガ同種ノ生産ニ従事シテキル会社、例ヘバ石油会社デアルトスレバ、Xガソノ石油株ノ大部分ヲ持ツテキルノデアルカラ、Xナルparent CompanyガA, B, C, D等ノdaughter Companyヲ支配スルコトニナル。即チ、A, B, C, D等ノ重役連ハXノparent

Companyニ決メルコトニナル。事實ニ於テA, B, C, D等ハXノ支配ニナツテシマフ。因ノ如クナルノデアル。コノ場合A, B, C, D等ノ諸会社ノ生産(石油)ガ市場ノ供給ノ大部分ヲ30%乃至40%ヲ占メルコトニナレバ、此会社ハTrustニナルノデアル。故ニHolding CompanyハU.S.A.デハTrustト同ジ作用ヲナス。Standard oil Companyハ此形式デU.S.A.ノ石油ヲ独占シテキル。又、U.S.A.ノSteel Co-operationハ事業ハマラズ、單ニ株ヲ持ツ所ノ会社デアル。ソレガA, B, C, D-----ナル事業会社ヲ指揮シ

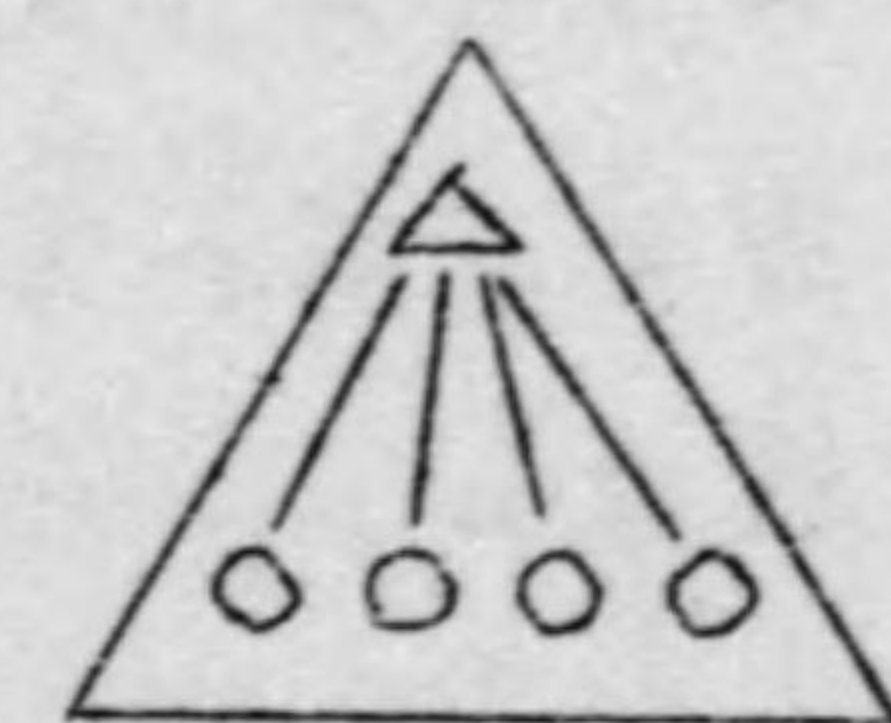


クナルノデアル。コノ場合A, B, C, D等ノ諸会社ノ生産(石油)ガ市場ノ供給ノ大部分ヲ30%乃至40%ヲ占メル

コトニナレバ、此会社ハTrustニナルノデアル。故ニHolding CompanyハU.S.A.デハTrustト同ジ作用ヲナス。Standard oil Companyハ此形式デU.S.A.ノ石油ヲ独占シテキル。又、U.S.A.ノSteel Co-operationハ事業ハマラズ、單ニ株ヲ持ツ所ノ会社デアル。ソレガA, B, C, D-----ナル事業会社ヲ指揮シ

テTrustヲナシテキル。法律上デハ種々ナ個々ノ会社デアルガ、經濟上デハ一体ヲナシテキル。

日本ニハTrustハアマリナイ、唯、トラストトイッテ良イノハ王子製紙会社デアル。ソレハツノ会社ニナツテシマツテキル。



法律上ノ形式ハ合併デアルガ、經濟的ニハ買収デアル。完全ナル合併ニハ金が非常ニカ、ル。手續煩雜ニシテ經費ヲ多大ニ要スル。故ニHolding Companyノ形式ガ普通ノ形式ニナルノデアル。日本ニハアマリTrustガナイカラHolding Companyノ形式デ独占スルコトハ行ハレテナイ。日本デHolding Companyガ有效ニ行ハレテキルノハ三井、三菱、財閥ノ宗家デアル。株式会社デモヨイノデアルガ、三井合名トナツテキル。非常ニ多数ノ株式会社ノ株式ヲ持ツテキルノミデアル。寄附金ヲシタリスルケレドモ事業ハシナイ。大方針ダケヲ決定シ指揮命令スルノデアル。三菱合資会社ハ二家ノ合資ヨリナツテキル。丸

ノ内ノ地所ヲ持ツテキテ地代ヲ取リ立テ *Building* ヲ立テル。コレハ消極的ナ仕事ニスギナイ。此ノ外ニ三菱合資会社ハ鉱業、造船、重工業、航空機、信託、保険、銀行等種々ナル会社ノ株式ヲ持ツテキル。ソウイフ種々ナル会社ハソレゾレ活動シテキル。併シ注意スベキコトハ、此ノ場合ニハ U.S.A. ノ石油 *Trust* ト遠ヒ、或ル市場ヲ独占スルコトハナイノdeal。換言スレバ同ジ *Holding Company* デハアルガ、U.S.A. ノ *Holding Company* ト遠ヒ遠デ云フ *Konzern* = 近イノdeal。

II. *Konzern*

独逸ノ戦後ノ *inflation* 時代ニ大儲ケヲシタ会社中ソノ金デ種々ノ会社ノ株式ヲ買ヒ込ミソレ等ノ諸会社ヲ統一的ニ經營シタモノガアル。斯ル組織ヲ *Konzern* トイフ。何処ニ統一ノ実ガアルカトイフニ主ニ金融方面ニアルノdeal。一ツノ持株会社が金融企業ヲヤツテキル会社ト実業会社トヲ統一シテ經營スル。銀行トカ保険株式会社、信託会社トカイフモノハ、人ノ金ヲ集メル營業デアル。保険ハ必スシモ *Finanz* デハナイガ

保険トイフ行為ヲ管ムコトニ依リ莫大ナル金ガ集マルノdeal。ソノ保険料ガミナ保険金トシテ出テシマフノデハ商賣ニナラナイガ、大衆ノ拂込ム極ク一部分ガ支拂ハレルノdeal。ソレデソノ金ヲ確實ニ投資シナケレバナラナイ。大火事、大地震等ガアツタ時ハ支拂ハナイコトニナツテキルガ、大震災ノ時ハ支拂ツタ。ソレ故ニ確實ニ投資シテ現金ニ戻リ得ルヤウニシテ置カナケレバナラナイ。保険株式会社ノ經營ノ苦心ハ何ニ有利且確實ニ投資スルカニアル。保険会社ト銀行ト信託会社トハ大衆ノ金ヲ集メル。一方ニハ生産的ノ株式会社トカ鉱山重工業トカハ金ヲ使フ事業デアル。コノニツノモノガ結合サレル。ソレガ大キナモノトナルト独占ノ如キモノニナル。完全ナル独占デハナイガ金融的ニ産業資本ガ統一集中セラレテ結合カ行ハレル。持株会社が其ノ系統ニ屬スルスベテノ会社ヲ支配シ、重役デモナンデモ自ラ決定スル。

日本ニ於ケル銀行デイハバ *Big Four* (三井、三菱、住友、安田) デアル。本當ハ *Big Three* (三井、三菱、住友) デアル。銀行ハ信託、保険、生産株式会社ノ株式ヲ有シテキル。

金融上ソノ中ニ入ツテキル生産株式会社ハ利便

ヲ得ルコトニナル。同一財閥内ノモノ、同一系統内ノモノナラ低利デ長期間貸スコトニスル。(勿論 *Konzern* 外ノモノニ対シ差別待遇ヲスルノデハナイガ、何か事情ノアルトキ *Konzern* 内ノモノニ便宜ヲ計ルコトニナル) 所謂金融資本主義 *Finanzkapitalismus*、時代トナル。不完全ナカラ金融上独立トナル。 *Konzern*、存在理由ハソコニアル。三井三菱ノ如クアラユル種類ノ事業ノ株ヲ持ツテキル結合ハ世界ニ稀デアル。 *Konzern* ハ市場ヲ独占スルニハ役立たナイガ、金融上ノ独占ヲ或程度迄実現シ得ル。

(Ⅲ) 又、結合ノ形態ニハ組合ノ形式ヲトルモノモアル。殊ニ同業組合ヲ作ルコトニナル。コレハ *Trust* デナク *Cartelle* = ナルノデアアル。コレガ日本ニ於ケル独占ノ普通ノ形式トセラレル。日本ニ於ケル典型的ナモノトシテハ

- (1) 大日本綿絲紡績聯合会
- (2) 大日本セメント
- (3) 大日本製紙 (後ニ王子製紙株式会社)
- (4) 日本羊毛工業会
- (5) 日本人絹聯合会

(6) 日本糖業聯合会

(7) 日本製粉

等ゲアル。

同業者ガ多数アツテ、コレガ組合ヲ形成スル。普通ノ聯合会ノ目的ハ必ズシモ独占ニアルノデハナイ。独占以外ニ同業者ノ聯合トシテマルコトハ種々アル。例ヘバ同業者ノ統計ヲ作ルコト等モアル。月報ヲ出シ毎月ニ於ケル各会社ノ運輸時間数、職工数ノ移動、女工数等ヲ発表シ、全国ノ同業会社ノ趨勢ヲ知り、又事業経営、技術上ノ新シイモノヲ研究使用スルコトニスル。或ハ朝鮮ニ綿花ヲ栽培シテ見ル。組合デマツテ見ルコトニスル。

故ニ組合ノ仕事ハ必ズシモ独占ヲ目指スモノデハナイ。又、同業組合ハ政治的ノ代表機関トナル。議會ニ代議士ヲ送ルコトニナル。関税ヲ引上げテ貫ヒタイトカ云フ同業者共通ノ利害關係ヲ有スル問題ニ付イテ、旧々ノ会社が運動スルヨリモ、聯合シテ運動シク方が有力デアアル。ソレハ政治上ノ利益代表機関トナル一例デアアル。ソレ故ニ *Interessenvertretung* トナルコトモ同業組合ノ一ツノ機能デアアル。

ソノ同業聯合会ガ同時ニ競争ヲ制限スル所ノ協

定ヲモナシ得ルワケデアル。市場独占、*Agreement* ヲナシ得ルコトニナル。ソウスルトソノ同業組合ハ *Cartelle* ニナル。此ノ同業聯合会トイフ形態ガ同時ニカルテルトナル。コレト *Holding Company* トノ透ヒハ *Holding Company* デハ投資關係カアルガ *Cartelle* ニハ投資關係ハナイ。唯協定 *Agreement* ガアルノミデアル。コノ協定ニハ次ノ如キモノガアル。

先ヅ。

(1) 「價格ノ協定」デアアル。幾ラ以下デハ賣ラナイトカ、幾ラ以上デハ賣ラナイトカ協定スル。之レヲ價格カルテルトイフ。然シ之レダケデハあまり意味ガナイ。

儲カルカラソレデハ自分ノ方ハ多クマラウト云フモノガ出現シテ来ル。サウナレバ同一價格ヲ維持スルコトハ出来ナイ。独占ハ供給ヲ制限スルカアルノミデ需要ヲ促進セシメルコトハ出来ナイカラデアアル。價格ヲ協定シテモ多クノ生産品ヲ賣レバ自然ニ價格ハ崩レルコトニナル。ソレ故ニ更ニ一步ヲ進メテ「生産高ノ協定」トナル。「生産制限」トカ「操業短縮」トカ新聞紙等デ称セラレルモノコレデアアル。機械ノ一部ヲ封印シタリ、或ハ時

間ヲ短縮シタリスル、*percentage* デ生産力ノ何%カヲ休マセルコトニスル。紡績株式会社デハ色々ナ形デマツテ来タ。明治20年代カラ度々操業短縮ヲマツテ来タ。時間短縮ヲシタコトモアル。又、現ニ持ツテキル設備ヲ休マセル。執達吏カマルマウニ封印シテ聯合会ノ印ヲスル。組合ノ検査委員ガ時々見廻リヲスル等ノ方法モアルノデアアル。時間ノ短縮ヨリモ機械ヲ休マセル方が漸次最近デハ多クマツテキル。ソレデモ抜ケガケノ功名ヲマラウトスルモノガ出現スル。生産ハ制限セラレテキル。従ツテ價格ハ維持セラレテキルカラソノ誘惑タルマナカサカ強イノデアアル。

日本デハ小工業ニモ、生産制限ヲ統制バザリノ一ツノ仕事トシテマラウトシタ。ソレデ商工省デハ「工業組合」ヲ作り、之ハ *Co-operative* ナモノデアアルガ、一方 *Cartelle* 的ナルモノトナスマウニ統制セラレテキルガ、云フハ易ク行フハ難シデアアル。何トナレバ組合デ相談シテ電球ガ濫賣サレテ價格ガ安イカラ賣リ止メヲシマウト云フト、賛成々々デ衆議一決デ定マル。然シ其ノ中ノ一人ガ向屋ト密約シテ自分ダケニ割引デ賣リ込マウトスルマウニナルカラ、他ノ組合員ハ組合協定

価格を売りに込め難い。ソコで他ノ組合員
モ負ケズニ割引キスルコトニナリ、ニ割引デユク
モノモ出テ、遂ニ此ノ協定価格ハ破ラレルコトニ
ナル。

Cartelle デマルモノハ *Holding Company*
Trust ヨリモ崩壊シ易イノデアルガ
事情ガ整ヘバ鞏固トナリ得ルコトモアル。組合ソ
ノモノヲツノ株式会社トスルコトモアル。事業
会社ガ逆ニ其ノ株式会社ノ株ヲ持ツコトニナル。
組合本部ハ販賣ヲ一手ニ引受ケル。顧客カラA会
社、B会社ニ注文シテモ、本部ニ対シテ注文シテ
下サイトイツテ、注文ハ全部本部ニスルコトニナル。

コノ組合組織ヲ有スルモノハ *Cartelle* トシテ
ハ一番進ンダモノデアル。共販会社(共販組合)
ト云ハレルモノデアル。小サイ会社デアルガ、販
賣ニ付テハ全部ヲ一手ニ引受ケル。ソレ故ニコノ
小サイ会社が或ル意味デ大事業会社ヲ支配スルコ
トニナル。小会社が大事業会社ヲ見廻リ罰金ヲ課
スル権利ヲ認めラレテキルコトモアルカラデアル。

然シコノ内部カラノ実行難ノ外ニ、外部カラノ
実行難ガアル。即チ *Outsiders* ノ競争デアル。

彼等ハ合法的ニ組合ノ協定価格又ハソレ以下デ無
制限ニ賣ルノデアル。組合ノ才養デ市価ノ統制ガ
出来テキル。ソレヲ利用シテ自分ノ所デ生産制限
ヲセズニ自由ニ売ルコトニスル。正ニ人ノ種デ角
力ヲトルモノデアル。然シ合法的デアル。何トナ
レバ組合ニ入ツテキナイカラデアル。

最後ニ独占ニ対スル国家ノ政策ニ付テ述ベル。

1880年代 U.S.A = *Trust* ノ発生シタ時
政府ハ此ノ独占組織ヲ禁止スル法律、一括シテ
Anti-Trust laws —— ヲ制定発布シタ。
蓋シ当時一般ノ考ハ独占ヲ以テ社会ノ安全利益ヲ
害スルモノトシ、経済生活ノ安全ハ自由競争ニ依
ツテ保障サレルモノトシタ。価格ハ生産費ヲ最低
限トシテ自由競争ニ依ツテ自動的ニ定マルモノデ
之レガ社会ノ経済生活ヲ安定ナラシムルモノトシ、
自由競争ノ効果ニ対スル信仰ガ強カツタ。サレバ
国家ハ独占ノ出現ニ対シ消費者ノ利益ヲ守ルベク、
独占組織ヲ解散シ、自由競争ヲ回復セントシタ。
併シ独占ノ威力ハ恐レラレタル程強大ナルモノデ
ナク、事实上価格ヲ吊上ゲルコトニモ限界ノアル
コトガ分明トナツタ。而モソレハ競争ノ結果必然
的ニ生ジタモノデ、種々ノ理由カラ之ヲ解散スル

ハ困難デアル。即チ独占ニ依ツテ従来ノ競争ニ依ル浪費ヲ排除シ、顧客吸収、為ノ費用ヲ節約スルトイフコトガアル。此等ノ冗費ノ排除ハ全産業機構ノ能率ヲ増進シ産業ノ進歩ヲ意味スルモノニ外ナラナイ。カクテ *Anti-trust laws* ノ解釈モ漸次変リ、*Trust* ヲ解散セシムルコトナク、專ラ其ノ不当ナル価格政策競争上ノ不法行為ヲ取締ルコトトナツタ。コノ目的ノタメニ *U. S. A.* デハ種々ノ調査機関ヲ設ケ、コレニ依リ絶エズ独立事業ヲ調査シ、其違法行為ハ裁判所ニ訴ヘル等ノ方法ニ依リ之ヲ監視シテキル。併シ *Trust* ノ成立ヲ認メルダケデ其ノ成立ヲ奨励スルヤウナコトハナカツタ。

然ルニ大戦後殊ニ 1929 年ノ世界恐慌後ニ於テハ独占組織ノ成立ヲ認メルノミナラズ、進ンデ其ノ成立ヲ助長スル傾向が生ジ、此ノ傾向ハ *U. S. A.* 以外ノ諸國ニ於テモ現レ、不景氣時代經濟界ノ安定ヲ保持スル役割ヲ務メルコトトナツタ。統制經濟ノ意義ガ此処ニアルノデアアル。

日本ニ於ケル独占組織ハ概ネ大戦後ニ生ジタモノデ、反独占的思想ノ中ニ成長シタモノデハナイ。不景氣時代ニハ生産制限ヲスル必要ガアルノデ、

Cartelle, *Trust* 等ノ独占組織ガ重要ナル役割ヲ演ズルコトニナル。

過剰生産ハ価格ヲ生産費以下ニ低落セシメ、企業ノ破産ヲ招来スル。小恐慌ノ時ニハサホドデモナイガ、大恐慌ノトキニハ重大ナル結果ヲ惹起スル。コレニ生産制限ノ必要ガ存在スル。ソコデ我國デモ独占組織ヲ保護助成スル政策ヲトリ、不景氣ノ最中ニ「重要産業統制法」ガ制定セラレタ。即チ昭和五年金解禁カラ昭和六年十二月金再禁止ニ至ル不景氣ト混亂ノ中ニ制定セラレタモノデアアル。ソレハ次ノマウナコトヲ規定シテキル。

同種ノ産業ヲ営ムモノガ申合ニ依ツテ價格又ハ生産高ヲ協定スルトキハ政府ハコレヲミトメルト。

コレハ畢竟 *outsiders* ニ加入ヲ強制スルモノデアアル。政府ハ更ニ *outsider* 取締ノ权限ヲ留保シテキル。

各種ノ産業毎ニ独占が生ズレバ、其間ノ連絡ヲ統制スルコトモ國家ノ力デ可能デアアル。コレハ恐慌ノ原因ヲ予メ除クコトニモナル、併シ現在ノ統制ハマダソレ程迄ニ至ツテキナイ。斯ルコトが行ハレルナラバ、社会ノ經濟的活動ヲ自由競争トイ

フ自動的原理ニ奉セズ、國家ノ作為的計画的機構
ノ中ニ收メルコトナリ、産業經營上ノ無駄ヲ排
シ、統制經濟ノ理想ニ達スルコトが出来ル。

第六章 中小工業問題 — 中小工業
ノ存続 — 日本ノ特色 — 中小工
業ノ利弊 — 其合理化 — 同業組
合 — 産業組合 — 工業組合

(一) 現在ノ工業經濟ノ單位ハ非常ニ区々デアル。即
チ工場ト称スルモノニハ非常ニ大キイモノカラ小
サイモノマデ大小マチマチデアリ、工業ノ種類ニ
依リ大經營ニナツテキルモノモ小經營ニナツテキ
ルモノモアル。標準化ガ有効ニ行ハレル生産品ニ
アツテハ大經營ハ最モ其ノ威力ヲ發揮シ、標準化
が行ハレ難イ。即チソレガ不適當ナ場合ニハ小經
營ガ有利デアル。然ツテ大体ニ於テ大經營ニ適ス
ルモノト小經營ニ適スルモノトガアリ、分野が分
レテキルコトハ否定出来ナイ。

(二) 此レニ關シテ日本ノ特色ト云フベキモノガアル。
日本ニ於テハ歐州諸國ニ比シ中小工業ノ範圍ガ広
ク將來モ相当ノ期間存続スル可能性ガアル。其ノ

理由ニ主ナルモノニツアリ。

(1) 手工業的(家内工業的)傳統ノ残存

職人工業ノ傳統ガ今日猶残存シ、大工場企業ヨ
リ独立シタル領域ニ於テ独立ノ職人が生産ニ従
事シテキル。ソレハスベテ小經營デアル。

大工、左官ノ建築ニ關係スル道具類ヲ修ヘル
モノ、ソノ外消費者ノ需要ニ直接應ズルモ者、
修繕業ノ如キソレデアル。茲ニ一ツノ实例ガア
ル。埼玉縣川口ニハ小經營ノ鑄物業が行ハレテ
キル。融ケタ銑鉄ヲ買フコトヲ「買湯」ト云フ
ガ、コノ慣習ガ今日モ残ツテキル。小經營ノ大
メ銑鉄ヲトカス設備ガナク、他ノ比較的大キナ
小經營工場ニ付キ、トケタ銑鉄ヲ買ツテクルノ
デアル。斯クノ如キ小經營ノ鑄物業サハ今日残
ツテキル。勿論斯ル小サナモノバカリデハナイ
ガ一畝ニ比較的ニ小規模ノ鑄物業ガ多クアル。
今日鑄物ノ中デモ大キナモノ(鉄管ノ如キ)ハ
大工場デ作ルガ機械器具ノ部品品ノ如ク標準化
サレテキナイモノハ小工業ニ依頼スル方が便デ
アル。ソレハ鑄物ニ關スル限リ技術ハ一穴シテ
キテ大工場デモ小工場デモ同じデ其間ニ相違ガ
ナイ。故ニ此ノ川口ノ小經營ノ工業ニ標準化ノ
デキナイ物ノ注文ガアル。大工場企業デ鑄物工

場ヲ附屬セシメルヨリモ此処へ注文シタ方が安
 イ。ソレハ彼等中小工業者ハ所謂職人賃價ヲ有
 シ親方トシテ独立シタイト云フ念願ヲ抱キ然ツ
 テ仕事ニ熱心ス製品モ廉價デアルカラデア
 ル。彼等ハ徒弟制度デ少年時代ヨリ鍛ヘラレルカラ
 技術ハ優秀デアリ製品モ廉價デアルカラ此ノ種
 小工業ハ存続スルノデアル。併シ彼等ハ無教育
 デアリ師弟ノ情誼ニ厚イ。

(2) 技術的理由

明治時代我が國ニ動力ノ利用が行ハレタ際、
 其ノ動力ハ煤ノ蒸氣カニ限ラズ電力ニモ反
 シタ。外國デハ長イ年月ヲ隔テ、經驗シタ此ノ
 ニ大動力ノ普及ガ我國デハ殆ント同時ニ行ハレ
 タ。英國ニ於テハ始メ蒸氣機関ガ利用サレタ故
 大ナル固定生産設備ヲ要シ動力ノ採用ハ必然的
 ニ經營ノ規模ノ擴張ヲ資シ、家内工業ヨリ工場
 工業ハノ飛躍ガ急激ニ行ハレタ。カクテ煤ノ
 小工業者ハ競争ニ敗レテ失業シ労働者階級ヲ形
 成スルニ至ツタ。

日本ニ於テハ蒸氣カノ利用ニ次デ電力ガ普及
 シ、電力ノ採用ハ何等大ナル固定設備ヲ要セズ、
 電線一本ニテ十分ナル故、小經營ハ大經營ニ移
 ルベキ必要ヲ感ジナカッタ。即チ電力ノ小売り

ハ小經營ニ維持ノ可能性ヲ與ヘタ。

斯ク日本ニ於ケル中小工業ノ範圍ノ大ナルコ
 トハ日本ノ工業ガ歐洲諸國ニ比シ差レテキルコ
 トヲ示スモノデアル。其等ハ早晚消滅シテ大工
 場企業ニ移ルト云フコトガ考ヘラレル。職人ハ
 労働者タルヲ欲セズ職人トシテ親方ヲシテス
 ル。然ツテ労働者階級ニ於ケル労働組合運動ト
 云フモノハ彼等ノ間ニハナイ。

蓋シ一般的ニ考ヘテ諸國ニ妥當スル法則ノ存
 在ハ考ヘラレルガ、其レガ何レノ國ニモ一概ニ
 起ルトハ限ラナイ。其ノ *Jempo* ノ早イモノト
 遅イモノトガアル。日本ニ於テハ動力トシテ電
 力ノ普及ガアツタノデ其ノ *Jempo* ガ緩メラレ
 タト考ヘホバナラス。日本ノ中小製造業ニ於テ
 動力ノ利用ナカリセバ没落シタデアラウ。

英國ニ於テ動力機械ヲ用ヒ始メタ頃ハ動力ト
 シテ蒸氣カガ用ヒラレタタメ手工業タル手織ト
 ノ競争ニ於テ之ヲ圧倒シ彼等ヲシテ失業セシメ
 タ。之ハ産業革命トシテ社會ニ大ナル不安ヲ醸
 成シタ。Chartist 運動ハ其ノ一ツノ現ハレデ
 アル。當時ノ不景氣ト機械ノ革命ガソノ大原因
 デアル。

我國ニ於テハ機械織が行ハレタ結果家内工業

タル手續ニ影響ナカリシ訳デハナイガ、電力ノ普及ハ小経営ヨリ大経営ヘノ転移ニ一ノ中間形態ヲ生ゼシメ其勢ヲ抑制シタ。勿論小工業ハ尠ニ角独立ハシテ居ルガ、直接市場ト取引シテキルノデ、無ク之等ヲ率ユル向屋ガアリ之等ヲ資本的ニ支配シテキル。我國資本主義工業組織ニ於テハ商業資本ガ絶支配力ヲ持ツテキルノデアアル。其ノ点ニ於テ今日ノ小工業ハ昔ノ家内工業ト以テ居ル。然ツテ普通ナルバ工場主ハ資本家ニナル筈デアアルガ日本ノ小工場主ハ資本家トナラズ労働者ト共ニ働イテ居ル。茲ニ日本ニ於ケル技術ノ特殊性ト家内工業的傳統が見ラレル。

尠ニ角斯カル現象ハ歐州諸國ニ其例ヲ見ザリシ發展階級デアアル。之ハ織物業ニ於テノミデハナイ。其他ノ工業ニモ見ラレル。斯クテ我國ニハ此種ノ中小工業ガ甚ダ多イ。統計上工業労働者ノ60%以上ガ此種十人以下ノ小工場ニ属スル。

(三) 中小工業ノ利弊

- (i) 中小工業ニ於テハ所謂職人気風ガ残存シ而弟ノ情誼ニ厚イト云フ長所ハアルガ其等ガ粗製濫造ヲ行フト云フ短所ガアル。ソレハ製品ノ均一性ノ欠如カラ来ルノデアツテ生産ガ標準化サレ

ナイコトニ基ク。大工場企業ニ於テハ大ナル固定生産設備ヲ有シ製品ガ標準化セラレ労働者ハ企業ニ依リ簡單ナル繰返シ作業ヲ行フモノデアアルカラ粗製濫造ハ出来ナイ。斯クテ中小工業ハ信用ヲ失ヒ取引ヲ失フコトが多イ。

(2) 社會政策上、中小工業ノ存在ニツキニツノ反對意見アリ。

- (i) 家族主義ノ醇風美俗ガ之ニ依リ保存サレル。情誼ニ依リ社會ノ秩序ヲ維持スルニ貢献スル。
- (ii) 中小工業ニ於テ競争ガ行ハレル場合、其ノ従業員ノ生活程度ヲ墮落セシムルコトが多イ。大工業ニ於テハ労資ノ対立ガ著シク賃銀ノ引下ゲ其他ノ労働條件ノ低下ニ対シテ労働者ハ結束シテ有力ナル反対ヲナシ得、之ヲ阻止スルコトガ出来る。故ニ労働組合運動ノ盛ンナルトキハ労働條件ノ低下ニヨル競争ハ困難トナリ、單ヲ合理化ニヨリ競争ガ行ハレルコトナル。

之ニ対シ小工業ニ於テハ家族的單位ガ支配的デアアルカラ労働者ト雇主トノ対立ハナク労働條件ノ低下、即チ生活程度ノ引下ゲニ対シテ反対スル力ガ弱イ。斯クテ小工業ニ於ケル競争ハ労働者ノ生活程度否更ニ雇主ノソレヲ引

下ゲルコトニ依ツテ行ハレル (例ヘバ労働時間ノ延長ノ如シ)。

此点ヨリ見テ小工業ガ社会政策上弊害アリト云フノハ不当デナイ。サレバ国家ハ小経営ヲシテ大経営ニ移テシメルコトヲ獎勵スベシトノ議論強シ。

斯カル中、小工業ヲ救済スル政策トシテ組合ヲ設立セシムルコトノナル。

(四) 同業組合

之ハ最も古クヨリ行ハレタモノデ之ヲ規條スル法律ハ重要物産同業組合法デアアル。ソレハ組合員共同一致シテ営業上ノ弊害ヲ矯正スルコトヲ目的トスル。要竟粗製濫造ヲ防止スルモノデアアル。組合ノ約束ノ履行ヲ確保スルタメニ商品ノ検査ト云フ方法ヲトル。

併シ甚ダシク良イ成績ヲ挙げタイト云フヲ厭ナシ。其ハ検査ガ「ルーズ」且ツ不公平ナコトニ基ク。之ヲ大正年間ニ改正シテ工業組合法ヲ制定シタ。

(五) 工業組合

之ハ地方的同業団体ニシテ其地方ニ於テ同じ職業ニ従事スルモノハ全部加入スベキモノトセラレル。

其行フ事業

(1) 製品、製産設備ノ検査、其他ノ取締 (粗製濫造ノ防止) 及び事業経営ニ対スル制限。

(2) 共同採買其他営業上ノ共同施設

(3) 組合員ニ対スル指導研究調査

(1)ノ前段ト(3)ハ同業組合ノ機能ニ同じ。

(1)ノ後段及び(2)ガ工業組合ニ特有ナルモノ

(2)ハ農業方面ニ於テ廣ク行ハル。産業組合ト同じ機能 (1)ノ後段ハ *Cartelle*ノ任務デアアル。過剰生産ニヨル價格ノ下落ヲ防グタメ生産制限ヲナスデアアル。小工業ハ其ノ數甚ダ多キタメ *Cartelle*ヲ結ブコトガ至難デアアルカラ国家ガ干渉スルコトニシタデアアル。之ヲ組合ニテ可決シタル以上ハ実行セネバナラス。之ハ最近ノ不景氣時代ニ於テ特ニソノ必要ヲ認メラレタモノデアアル。但シ其実行ハ甚ダ困難唯ダ外國貿易ニ於テ外國ヨリ輸入割当ヲ受ケタル場合ハ輸出総額ガ全体ニ於テ制限セラレルカラ其額ヲ同業者間ニ割当テホバナラスガ此際外部カラ割当ガ強制セラレル結果抜ケガケノ功名ガ出来ズ。工業組合ハ能ク其ノ任務ヲ果ス。即チ工業組合ハ同業組合産業組合及び *Cartelle*ノ職分ヲ有シテキル。勿論ソノ全部ヲ完全ニ果シテキルトハ云ヘナイ。

(173)

日本デハ中小工業ノ範圍ガ廣イカラ政策ニ実効ヲ
收メ難イ。

(十月三十日迄)

昭和拾壹年十二月四日
昭和拾壹年十二月七日

印刷
發行

編輯兼
發行所
百瀨清一
印刷所
文精社

發行所

東京市神田区駿河台二ノ六

文精社

電話神田二五七二番
振替東京七三三三番

『文精社版』

昭和十二年版(百回現在)新刊總目錄

特長

- 優秀なる學生の集団的編輯による世の進進し得ぬ原稿
- 出版組織の合理化による頒價の低廉と製版印刷技術の卓越
- プリント紙に於ける十有五年の長経験の基礎の上に事業が進められること

法学部

<p>1 教野教授 刑法総論 兼合冊 英法一部</p>	<p>2 野村教授 行政法第一冊 刑事訴訟法 刑法 民法 経済政策 外交史 租選法制史 佛蘭西法制史 英法第二冊</p>	<p>3 兼子教授 民法第二冊 兼合冊 中田 日本法制史 末延 英法第三冊 末弘 民法第三冊 杉村 行政法第二冊 三浦 租法第三冊</p>
<p>1 本位田教授 経済史 末弘 民法第一冊 佐藤 経済地理 田辺 経済学(克)</p>	<p>2 山田 工業政策 中田 經營經濟学 荒木教授 貨幣論 山田 工業政策</p>	<p>2 野村教授 經濟學史 I, II 工場經濟論 兼合冊 岡合 租選社會主義論 高橋 高橋政策 五十嵐彌河 國際金融論 上野教授 銀行會計 スミス教授 貿易理論(克)</p>

特 227

232

特 227

232